

議員提出議案第24号

2025年日本万国博覧会の大坂誘致に関する決議

上記の議案を別紙のとおり会議規則第13条第2項の規定により提出します。

平成30年6月19日

芦屋市議会議長 畑中 俊彦 様

提出者	あしや真政会	松木 義昭
	公 明 党	帰山 和也
	日本維新の会 芦屋市議会議員団	大原 裕貴
	会派に属さない議員	いとうまい
賛成者	会派に属さない議員	中島かおり

## 2025年日本万国博覧会の大阪誘致に関する決議

国際博覧会は、人類が抱える地球的規模の課題に対し、世界からの知恵を一堂に集めることで、解決方法を提言する場であり、新しい時代に生きる知恵を広く発信することによって、世界と日本の平和的発展に大きく寄与することが期待される。

我が国は、2025年国際博覧会（登録博覧会）の開催国に立候補し、「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに、関西地域の大阪府を会場として開催することを目指している。大阪・関西が一体となって開催することは、日本の歴史・文化の原点である関西の素晴らしさを世界の人々に理解してもらう機会となり、関西全体の観光・文化・交流の促進につながるものである。

また、関西には世界最先端のライフサイエンスの研究拠点が集積し、高い生産技術を有する製造業が備わっていることから、健康・長寿という世界的な課題を解決する未来技術を生み出す産業イノベーションを喚起し、大きな経済効果をもたらすことが期待できる。

本市としても、阪神・淡路大震災を乗り越えて、住宅都市としてさらに発展し続ける力強い姿を発信するまたとない機会である。

2020年東京オリンピック・パラリンピック、2021年ワールドマスターズゲームズ関西など国際的な大会の理念と成果が、2025年国際博覧会へ引き継がれ、次世代への資産となり、関西・日本のさらなる発展につながるが大いに期待される。

よって、芦屋市議会は、大阪・関西における国際博覧会の開催を支持し、誘致実現に向けた機運の醸成など、必要な取り組みを積極的に推進する。

以上、決議する。

芦屋市議会